

日ごろの創作活動の成果を披露

市内各公民館で瀬戸内市文化祭を開催



ヒップホップダンスで会場は大盛り上がり!

瀬戸内市文化祭が10月24日～11月8日に市内各公民館で開催され、文化団体や個人の皆さんが日ごろの創作活動の成果を披露しました。

来場者は、会場に展示されている書道、生け花、絵画などの力作を一点一点じっくりと鑑賞。

ステージで繰り広げられた傘踊りやダンス、剣舞などには、客席から惜しめない拍手が送られていました。お茶席や着付けなどの体験コーナーも設けられ、たくさんの市民が芸術の秋を満喫することができたようです。

新たな特産品づくりを進める

J A岡山がレモンの出荷を本格化



レモンの出荷作業を行う尾上さん

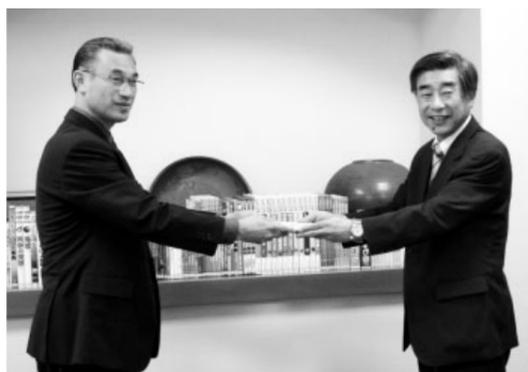
10月15日に、市内農家がレモンの初収穫を行いました。流通量の大半が外国産ですが、近年の消費者の安全・安心に対する関心の高まりを受けて、国産需要が伸びるとして、平成18年3月に定植。現在約60戸が4ヘクタールで栽培しています。

栽培を行う尾上寛さん(牛窓町長浜)は、「この気候はレモンによく合っている。県内産を皆さんにぜひ食べてもらいたいですね」と語っていました。

今後、このレモンは、量販店やJ A岡山の産直店などで販売されることになっています。

読書で豊かな心を育くんで

社団法人西大寺法人会が児童図書を寄贈



福池敏和教育長職務代理者に目録を手渡す橋本会長(右)

10月5日、西大寺税務署管内の法人で構成する社団法人西大寺法人会(橋本明典会長)が、子どもの読書活動の推進とその健全育成を図ってほしいと、約200冊の絵本や図鑑など児童向けの図書を寄贈しました。これらの図書は市内図書館・室に配置し、市民の皆さんが広く利用できるようになっています。読書によって、知識を増やしたり、想像力を養ったりすることができます。活字離れが進んでいるといわれて久しいですが、この機会にぜひ親子で読んでみてはいかがでしょうか。

牛窓の町並みに祭りばやし

牛窓秋祭りが開催



牛窓神社前で勢いよく捧げられたみこしは、お旅所へ



唐子踊のピタリと息の合った踊りにみんな魅了

10月25日に、牛窓地域一円で牛窓秋祭りが開催されました。午前10時過ぎに、白装束に身を包んだ幡地区の男衆が胴六角の珍しい形をしたみこしを担いで、牛窓神社を出発。前島を含むお旅所を巡りました。各地区でも、獅子や竜頭の見事な彫刻を施した船形だんじりや「どんでんどん」と呼ばれる太鼓台が次々に繰り出し、牛窓は、祭り一色に。

また、疫神社(牛窓町牛窓)では、牛窓港に寄港した朝鮮通信使との文化交流に由来するともいう「唐子踊」(岡山県重要無形民俗文化財)が奉納。唐子踊保存会のメンバーの皆さんの笛・小太鼓・歌に合わせて、異国風の鮮やかな色の服を着た男児2人が華麗な踊りを披露すると、訪れた観光客は、盛んにシャッターを切っていました。

みんながともに歩く社会を

スマイル祭りを開催



オープニングを飾った呂久保育園鼓笛隊の皆さんによる演奏

10月24日、地域生活支援センタースマイルでスマイル祭りが開催されました。この祭りは、地域住民との交流を通して、障害者に対する理解を深めてもらおうと、ボランティアの皆さんの協力によって行われているものです。

第5回となる今年は「ふれあい」がテーマ。朝からたくさんの人が訪れ、バザーや模擬店、福祉施設からの出店もあり、会場は、大にぎわいでした。また、太鼓の演奏やコーラス、手品などいろいろな出し物もあり、楽しい一日となりました。